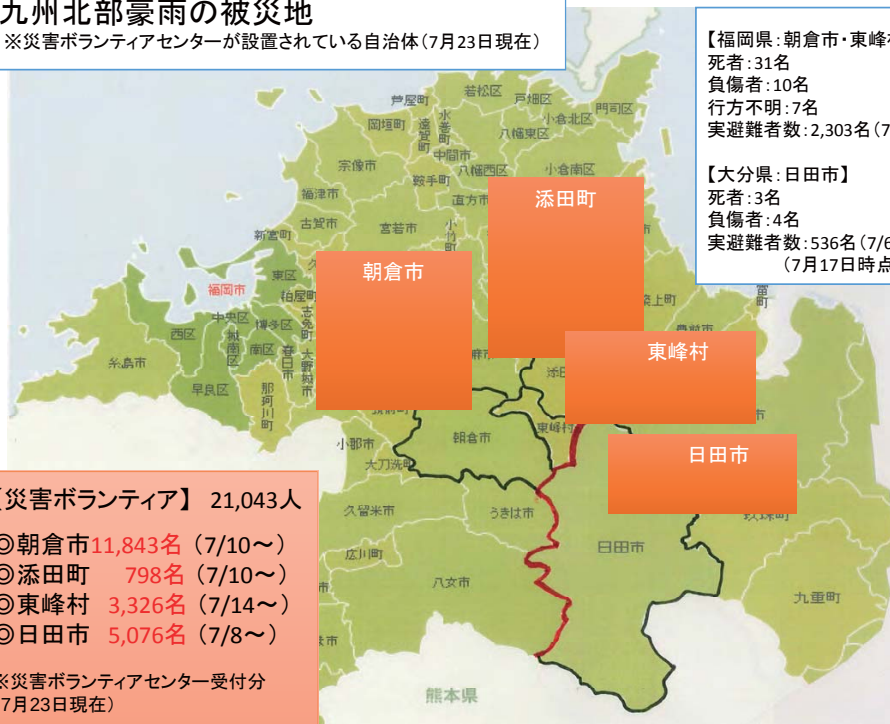


平成29年7月九州北部豪雨への対応

平成29年7月27日
ひょうごボランティアプラザ

九州北部豪雨の被災地

※災害ボランティアセンターが設置されている自治体(7月23日現在)



【福岡県:朝倉市・東峰村】

死者:31名
負傷者:10名
行方不明:7名
実避難者数:2,303名(7/6最大数)

【大分県:日田市】

死者:3名
負傷者:4名
実避難者数:536名(7/6最大数)
(7月17日時点)

【災害ボランティア】 21,043人

- ◎朝倉市 11,843名 (7/10～)
- ◎添田町 798名 (7/10～)
- ◎東峰村 3,326名 (7/14～)
- ◎日田市 5,076名 (7/8～)

※災害ボランティアセンター受付分
(7月23日現在)

九州北部豪雨 災害ボランティア支援本部の立ち上げ

7月5日からの九州北部豪雨の被災地へのボランティア活動の支援について検討するため、7月6日ボランティア支援本部を立ち上げ本部会議を開催

- 1 本部名称 九州北部豪雨災害ボランティア支援本部
- 2 検討内容 (1)被災地の情報収集
(2)先遣隊の派遣
(3)県民ボランティアバスの実施等被災地での活動支援
- 3 参集者 ひょうごボランタリープラザ所長 高橋 守雄
所長代理 鬼本 英太郎
兵庫県県民生活課班長 横山 寿信
兵庫県社会福祉協議会副部長 新屋 幸子 ほか

九州北部豪雨先遣隊調査結果

- 1 訪問日 平成29年7月12日(水)
- 2 訪問先 大分県日田市、福岡県朝倉市、東峰村
- 3 訪問者 ひょうごボランタリープラザ高橋所長、
鬼本所長代理、柳瀬事務局長
兵庫県社会福祉協議会 馬場企画部長、
兵庫県県民生活課 横山班長

① 大分県日田市大鶴地区(市北部の山間部)

山腹崩壊、川の氾濫で家屋への土砂流入被害甚大、市中心部から遠距離のため災害ボランティアのサテライトセンターを15日(土)午前に設営予定、日田市社協から同センターの開設・運営の支援要請



② 福岡県朝倉市杷木地区、比良松地区

筑後川流入河川が氾濫、流木や土砂で平坦地の広範囲の家屋・田畑が被害、特に杷木地区は被害甚大で自衛隊が救援活動中、ボランティアの入れる段階に至っていない。



③ 福岡県東峰村宝珠山地区

駅や市街に流木・土砂が流入し被害が甚大、道路途絶箇所多数有り



九州北部豪雨 災害ボランティア支援団体ボランティアバス (第1回災害ボランティアバス)

先遣隊の調査結果を踏まえ、様々な分野で被災地支援を効果的に進めるため、県災害救援ボランティア支援関係団体連絡会議、防災士、災害ボランティア熟練者によるボランティアバスを実施

現地では被災地NGO協働センター、熊本地震において西原村を支援した方々ほか、様々な支援団体・NPOと協働

実施期間 平成29年7月14日(金)～17日(月)(現地1泊、車中2泊)

活動先 大分県日田市の被災地

【参加者】

支援関係団体連絡会議11名
(コープこうべ、NPO法人シミンズシーズ、大学コンソーシアムひょうご神戸(県立大学、神戸学院大学、神戸大学)、神戸市社協、プラザ)
防災士1名、災害ボランティア熟練者8名(ひょうご若者災害ボランティア隊含む) 計20名



①災害ボランティアセンター開設、運営支援班(大鶴地区サテライトセンター)









②被災地支援ボランティア活動班 日田市山田地区







九州北部豪雨第2回災害ボランティアバス

- 1 期 間 平成29年7月31日(月)～8月3日(木) 4日間(現地1泊・車中2泊)
- 2 活動先 大分県日田市等の被災地
- 3 活動内容 災害ボランティア活動
(被災家屋の泥出し、家具等の搬出・洗浄作業、傾聴等)
- 4 募集人数 20名程度(ひょうご若者災害ボランティア隊を含む。)
- 5 募集要件 県内在住、在勤、在学の方

九州北部豪雨第3回災害ボランティアバス (高校生による現地ボランティア活動)

- 1 期 間 平成29年8月8日(火)～8月10日(木) 3日間(現地1泊・車中1泊)
- 2 活動先 福岡県朝倉市の被災地
- 3 活動内容 災害ボランティア活動
(被災家屋の泥出し、家具等の搬出・洗浄作業等)
- 4 参加人数 35名
- 5 参加者 県立西脇北高校、県立長田商業高校、県立松陽高校、県立青雲高校、
尼崎市立琴ノ浦高校